

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	日本医科大学
設置者名	学校法人日本医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信			50	50	19	
		夜・通信						
医療健康科学部	看護学科	夜・通信			103	103	13	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページの下記アドレスにて公表している。 (医学部) https://www.nms.ac.jp/college/medicine/curriculum/syllabus/ (医療健康科学部) https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/curriculum/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本医科大学
設置者名	学校法人日本医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nms.ac.jp/houjin/about/officer.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会医療法人社団 理事長	令和7年6月24日～ 令和11年度の定時評議 員会の終結の時	組織運営体制への チェック機能
非常勤	弁護士	令和7年6月24日～ 令和11年度の定時評議 員会の終結の時	組織運営体制への チェック機能
(備考) 学外者は3名以上いるが、2名のみ記載			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医科大学
設置者名	学校法人日本医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (医学部) 本学では、学是「克己殉公」の精神に則り、「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」をミッションとしている。その理念を実現するために、カリキュラム・ポリシーを制定し、アウトカム基盤型カリキュラムを編成した。 カリキュラム・ポリシーに則り、各講義科目のシラバスを作成し、本学ホームページで広く一般に情報公開するとともに、本学学生に対しては学生ポータルシステムでの閲覧も可能とし、パソコンやスマートフォンからの閲覧ができる等、利便性を高めている。 なお、シラバスについては、毎年度12月に各教員へ作成方依頼し、毎年度3月末までに本学ホームページ上で公開し、新年度の授業開始に支障のないよう、配慮している。 (医療健康科学部) 本学では、学是「克己殉公」の精神に則り、「豊かな人間性を有する質の高い看護師・保健師の養成」をミッションとしている。その理念を実現するために、カリキュラム・ポリシーを制定し、カリキュラムを編成した。 カリキュラム・ポリシーに則り、各授業科目のシラバスを作成し、本学ホームページで広く一般に情報公開する予定としており、本学学生に対しては学生ポータルシステムでの閲覧も可能とし、パソコンやスマートフォンからの閲覧ができる等、利便性を高めている。 なお、シラバスについては、昨年度中に各教員へ作成を依頼のうえ、完成次第本学ホームページ上で公開し、新年度の授業開始に支障のないよう、配慮している。	
授業計画書の公表方法	(医学部) https://www.nms.ac.jp/college/medicine/curriculum/syllabus/ (医療健康科学部) https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/curriculum/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(医学部)

- ・ 授業科目修了の認定は、その科目の目標において求める知識、技能、態度等の修得の程度の評価に基づき、教授会の審議を経て学長がこれを決定する。
- ・ 評価は、試験及び実習における観察等によって行う。
- ・ 成績の評価は、秀・優・良・可・不可の5種類とし、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。(秀 90 点以上、優 80 点以上、良 70 点以上、可 60 点以上、不可 59 点以下)
- ・ 各授業科目(臨床実習を除く。)の受験資格は、その授業科目の規定の授業時数(講義と実習の合計時数)及び実習時数のそれぞれについて3分の2以上出席した者に与える。
- ・ 必修科目に受験資格のない者は、その授業科目を再び履修しなければならない。
- ・ 臨床実習生となるための資格については、別に定める。
- ・ 試験及びこれに関連する事項は、別に定める。

(医療健康科学部)

- ・ 授業科目終了の認定は、その科目の目標において求める知識、技能、態度等の修得の程度の評価に基づき、教授会の審議を経て、学長がこれを決定する。
- ・ 評価は、試験及び実習における観察等によって行う。
- ・ 成績の評価は、秀・優・良・可・不可の5種類とし、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。(秀 90 点以上、優 80 点以上、良 70 点以上、可 60 点以上、不可 59 点以下)
- ・ 各授業科目(臨床実習又は臨地実習を除く。)の受験資格は、その授業科目の規定の授業時数(講義と実習の合計時数)及び実習時数のそれぞれについて3分の2以上出席した者に与える。
- ・ 臨床実習生又は臨地実習生となるための資格については、別に定める。
- ・ 試験及びこれに関連する事項は、別に定める。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) (医学部) 本学では卒業認定や進級認定の判断材料として、GPA も利用している。 各学生に対しては、在籍学年内でどのレベルの成績に位置しているかも段階レベルで全学生にフィードバックし、学力アップの一助としている。 なお、本学における GPA の算出方法については、下記 URL に掲載・公表している。 (GPA の算出方法) GPA 算出の計算式は次のとおりとし、算出された数値に小数点以下 3 位がある場合は、小数点以下の値を四捨五入するものとする。 【学年 GPA 算出の計算式】 $\text{学年 GPA} = \text{当該年次の授業科目の GP の総和} / \text{当該年次の授業科目数}$ 【累積 GPA 算出の計算式】 $\text{累積 GPA} = \text{在学期間の総授業科目の GP の総和} / \text{在学期間の総授業科目数}$ (医療健康科学部) 本学では卒業認定や進級認定の判断材料として、GPA も利用している。 各学生に対しては、在籍学年内でどのレベルの成績に位置しているかも段階レベルで全学生にフィードバックし、学力アップの一助としている。 なお、本学における GPA の算出方法については、下記 URL に掲載・公表予定である。 (GPA) GPA は、全履修科目の成績の平均値を表す値であり、各履修科目の単位数にその科目で得た GP を乗じた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で除したものであり、次の計算式によって算定する。 【学年 GPA 算出の計算式】 $\text{学年 GPA} = \left(\left[\left(\text{当該年次の授業科目の単位数} \right) \times \left(\text{その科目で得た GP} \right) \right] \text{の総和} \right) / \text{当該年次の履修科目数単位数の総和}$ 【累積 GPA 算出の計算式】 $\text{累積 GPA} = \left(\left[\left(\text{在学期間の総履修科目の単位数} \right) \times \left(\text{その科目で得た GP} \right) \right] \text{の総和} \right) / \text{在学期間の総履修単位数の総和}$	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	(医学部) https://www.nms.ac.jp/college/medicine/curriculum/syllabus/ (医療健康科学部) https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/curriculum/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) (医学部) 本学では、下記のとおり、ディプロマ・ポリシーを定め、日本医科大学学則で定めるところにより、学長が卒業の認定をしている。 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針） 愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成を教育理念とする本学の医学教育は、医師となるための基本的知識、技能、態度の修得、自主的かつ周囲と協働して問題を発見し解決する能力の涵養と豊かな人間性の陶冶を目標としています。これらの資質及び能力を修得し、本学の学則に基づくすべての試験科目および授業科目に合格した者に学士の学位を授与しています。 (医療健康科学部) 本学では、以下のディプロマ・ポリシーに基づく能力を身につけ、「日本医科大学学則」に基づく授業科目及び単位数の修得等の規定要件を満たした学生に対しては卒業を認定し、学士（看護学）を授与する。 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針） 1. 対象者の健康の維持及び変化に対応するために必要な看護の知識と技術を修得している。 2. 幅広い教養を身に付け、保健・医療・福祉の場において患者、家族、関係する人々の多様な価値観を尊重し、適切な看護が実践できる。 3. 医療人として必要な論理的思考、専門知識、技能を用い、科学的根拠に基づいた問題解決を図ることができる。 4. 対象者をとりまく多職種と看護職との関係、役割、連携、協働の必要性及び自らの役割と責任を理解している。
卒業の認定に関する 方針の公表方法	(医学部) https://www.nms.ac.jp/college/medicine/policy/ (医療健康科学部) https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/philosophyandpolicy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	日本医科大学
設置者名	学校法人日本医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nms.ac.jp/houjin/information/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.nms.ac.jp/houjin/information/zaimu.html
財産目録	https://www.nms.ac.jp/houjin/information/zaimu.html
事業報告書	https://www.nms.ac.jp/houjin/information/zaimu.html
監事による監査報告(書)	https://www.nms.ac.jp/houjin/information/zaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:	https://www.nms.ac.jp/college/introduction/governance-oa-policy/
-------	---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:	https://www.nms.ac.jp/college/introduction/assessment/
-------	---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： （医学部）https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/ （医療健康科学部） https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/philosophyandpolicy/
（概要） （医学部） 日本医科大学医学部は、学術の中心として広く知識を授けるとともに、深く医学を研究教授し、知的・道徳的・応用的能力を展開させることを目的とする。 この目的を達するために、広く医学を世界に求め、堅実公正な医師を育成することを使命とする。 （医療健康科学部） 看護学科は、学術の中心として看護学に関する広範な知識を教授するとともに、医療健康科学の分野における研究と教育を行い、知的・道徳的・応用的能力を養成することを目的とする。これにより、人々の健康と福祉の向上に寄与することを目指す。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： （医学部）https://www.nms.ac.jp/college/medicine/policy/ （医療健康科学部） https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/philosophyandpolicy/
（概要） （医学部） 本学では、下記のとおり、ディプロマ・ポリシーを定め、日本医科大学学則で定めるところにより、学長が卒業の認定をしている。 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針） 愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成を教育理念とする本学の医学教育は、医師となるための基本的知識、技能、態度の修得、自主的かつ周囲と協働して問題を発見し解決する能力の涵養と豊かな人間性の陶冶を目標としています。これらの資質及び能力を修得し、本学の学則に基づくすべての試験科目および授業科目に合格した者に学士の学位を授与しています。 （医療健康科学部） 本学では、以下のディプロマ・ポリシーに基づく能力を身につけ、「日本医科大学学則」に基づく授業科目及び単位数の修得等の規定要件を満たした学生に対しては卒業を認定し、学士（看護学）を授与する。 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針） 1. 対象者の健康の維持及び変化に対応するために必要な看護の知識と技術を修得している。 2. 幅広い教養を身に付け、保健・医療・福祉の場において患者、家族、関係する人々の多様な価値観を尊重し、適切な看護が実践できる。 3. 医療人として必要な論理的思考、専門知識、技能を用い、科学的根拠に基づいた問題解決を図ることができる。 4. 対象者をとりまく多職種と看護職との関係、役割、連携、協働の必要性及び自らの役割と責任を理解している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： （医学部）https://www.nms.ac.jp/college/medicine/policy/ （医療健康科学部） https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/philosophyandpolicy/

(概要)

(医学部)

本学では、学是「克己殉公」の精神に則り、「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」をミッションとしています。その理念に則り、本学学生が医師、医学者となるために必要な知識・技能・態度を修得し、自ら考え判断でき、生涯にわたって学ぶことができるように、カリキュラム・ポリシーを策定し、教育課程を編成しています。

1. コンピテンスの明確化と履修系統図の明示
2. 能動的学修の重視
3. コア・カリキュラムとの整合性の重視
4. 共用試験(CBT, OSCE)の実施と Student Doctor 資格の取得
5. 臨床実習教育の充実
6. 研究心、国際性、プロフェッショナリズムの涵養

(医療健康科学部)

ディプロマ・ポリシーに掲げた内容を達成するために、教育課程は健康科学基礎科目、専門科目の2科目区分から構成する。本学科のカリキュラム・ポリシーは以下のとおりである。

1. 科学的・論理的思考を身に付け、人間性を涵養するための健康科学基礎科目
看護の対象となる人々の身体的・精神的・社会的な側面を統合して理解するための基本的知識を修得できるよう、『語学』、『自然科学と情報科学』、『人文科学と社会科学』、『導入教育』の科目群を配置する。これらの科目履修を通して、科学的・論理的思考力を養い、人間性と品性を涵養し、多様な価値観を尊重したケアに繋げるための基礎を築く。

2. 医療の基本的知識と技能を修得するための医療基礎科目
医療の基本的知識と技能を修得し、医療の科学的及び社会的側面などを学修できるよう、『人体の構造と機能』、『健康障害と治療』、『健康支援と社会環境』の科目群を配置する。これらの科目履修を通して、看護の対象となる人々の総合的なアセスメント、看護実践、評価を行うための根拠となる医療の基本的知識と技能を養う。また、研究の概論に関する科目として「看護保健学研究概論」を配置し、人々の健やかな生活の実現に貢献するための基盤としての看護学研究的必要性や意義についての理解を促し、看護学の知識体系を構築する。

3. 看護の基本となる基礎看護学科目
医療機関、在宅、保健機関、福祉施設、産業・職域、学校、研究機関など、様々な場で看護実践を行うために必要な基礎的な専門知識及び技能を身に付けることのできる科目を配置する。これらの科目履修を通して、看護の基本理論や問題解決プロセス、診療・日常生活に伴う援助技術について学ぶ。また、看護の現場を効果的に管理し、リーダーシップを発揮するための基礎を築けるよう「看護管理学」を配置している。さらに、グローバル化に伴う多様な文化や価値観に対応できる能力を養うため、「国際看護学」を配置している。

4. 対象者のニーズに合わせた看護を実践する能力を養うための専門科目
あらゆる発達段階、健康状態、生活の場にある人々のニーズに合わせた看護を実践する能力を育成するための科目を配置する。発達段階としては周産期や小児期、成人期、老年期、健康状態としては周術期・クリティカル期や慢性期、緩和、精神、生活の場における看護の視点から、地域包括ケアの理念や構造、具体的な支援体制などについて学ぶ。

5. 臨床実践に即した看護の統合科目
分野別に学んだものを統合し、臨床実践に繋げるための総合的科目を配置する。周囲と協働してチーム医療を実践するための「多職種連携論」、「多職種連携演習」や、看護実践の探究を通して継続的に看護の質向上に努めるための素養を養う「看護学卒業研究」を配置している。

特に、緊急度・重症度の高い人々を対象とした救急看護に関しては、基本的な知識と技術を養う「救急看護学」を配置している。さらに、シミュレーションなどの演習を通じて臨床実践に応用できる知識・技術を学ぶ「救急看護実践演習」、臨地で実際の救急看護活動を学ぶ「救急看護学実習」を配置している。

6. 保健師養成のための保健師科目

地域の保健医療福祉等のニーズに対応した活動の計画と遂行に必要な知識と技術を修得するための『公衆衛生看護学』の科目群を配置する。

7. 学修成果の評価

学修成果の評価では、レポート、試験、学修態度などを数値化し、厳格な単位認定をする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

（医学部）<https://www.nms.ac.jp/college/medicine/policy/>

（医療健康科学部）

<https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/philosophyandpolicy/>）

（概要）

（医学部）

本学では、下記のとおりアドミッション・ポリシーを定めている。

本学の学是は「克己殉公」、すなわち“己に克ち、広く人々のために尽くす”ことであり、教育理念として「愛と研究心を有する質の高い医師、医学者の育成」を掲げ、多くの臨床医、医学研究者、医政従事者を輩出してきました。この学是、理念、そして歴史ある私立医科大学という特長を基盤に、最新の医学を教育・研究し、広く国際的な視野に立った見識と豊かな人間性を備えた医師、医学研究者の養成に努め、人々の健康の維持・増進、社会に貢献することを使命と考えています。本学では、この学是、理念そして使命を理解・尊重し、豊かな資質を持った次のような人を求めています。

1. 医学を学ぶ目的意識が明確で、医師、医学者となるに必要な知識・技能の獲得のために自ら努力する人
2. 生命倫理を尊重し、医学を学ぶための知識・知性および科学的論理性と思考力を備えた人
3. 病める人の心を理解し、相手の立場で物事を考えることができ、主体性を持ちつつ協働して学ぶことのできる人
4. 社会的な見識を有し、周囲との協調性を尊重しながら、自らを表現し、判断できる人
5. 世界の医学・医療の進歩と発展に貢献する強い意欲のある人

（医療健康科学部）

本学科の教育目標は、豊かな人間性と品性を備え、医療人として必要な知識や倫理観を持ち、常にケアを受ける人の生命と権利を尊重できる人材養成である。また、論理的思考力や基礎的・専門的な能力を身につけ、看護の質を継続的に向上させる努力を怠らず、適切に問題を解決する力を養うことを目指す。さらに、自主性を持ちながら周囲と協力し、チーム医療を実践することで、人々の健康の保持・増進、疾病の予防と回復、そして地域医療への貢献ができる人材を養成する。

本学科のアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

1. 豊かな感性を持ち、他者を尊重できる人
2. コミュニケーション力を持ち、協調性とリーダーシップを発揮できる人
3. 医療・看護を学ぶための基礎学力を備えた人
4. 医療・看護を学ぶための科学的論理性、思考力を備えた人
5. 医療・看護を学ぶ目的意識を持ち、看護師・保健師に必要な知識と技能を修得するために自ら努力する人
6. 医療・看護に貢献する意欲と知的好奇心のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.nms.ac.jp/college/introduction/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
医学部	－	103 人	132 人	109 人	672 人	1 人	1017 人
医療健康科学部	－	10 人	5 人	4 人	7 人	1 人	27 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		350 人					350 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： （医学部） ・教員学位 https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/ ・業績 https://www.nms.ac.jp/college/kenkyujoho/kensaku/ （医療健康科学部） https://researchmap.jp/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部	125 人	125 人	100%	749 人	761 人	101.6%	人	人
医療健康科学部	120 人	128 人	106.6%	480 人	128 人	26.7%	人	人
合計	245 人	253 人	103.3%	1229 人	889 人	72.3%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部	120 人 (100%)	人 (%)	118 人 (98.3%)	2 人 (1.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
(医学部) 日本医科大学学則や、試験等に関する細則等、学生生活を送る上でのルールブックとなる「学生便覧」や、各授業科目の詳細を記載した「シラバス」、基礎科学や基礎医学、臨床医学で設置されている科目について、下記のとおり公表している。 https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/
(医療健康科学部) 日本医科大学学則や、試験等に関する細則等、学生生活を送る上でのルールブックとなる「学生便覧」や、各授業科目の詳細を記載した「シラバス」、健康科学基礎、医療基礎・基礎看護学、臨床看護学、母子看護学、老年・地域看護学で設置されている科目について、下記のとおり公表している。 https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 授業科目修了の認定は、その科目の目標において求める知識、技能、態度等の修得の程度の評価に基づき、教授会の審議を経て学長がこれを決定する。
卒業の認定は、修業年限以上在学し、全ての科目及びコースの試験に合格した者に対して、学長は教授会の議を経て認定する。

<https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科	194 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
医療健康科学部	看護学科	125 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
医学部	医学科	2,500,000 円	1,000,000 円	1,000,000 円	平成 30 年度入学者から適用
		円	円	円	
医療健康 科学部	看護学科	1,050,000 円	400,000 円	250,000 円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) (医学部) 以下の制度等を設け、学生への経済的支援を行っている。 ・成績上位での入学者に対する特待生制度 ・本学独自奨学金、本学父母会奨学金（両制度年間事業予算額計：6,500 万円） ・地域枠奨学金による入学枠を設定（令和 8 年度で 20 名の枠を確保） https://www.nms.ac.jp/college/medicine/school_expenses/ (医療健康科学部) 以下の制度等を設け、学生への経済的支援を行っている。 ・本学給付型奨学金（授業料全額を各学年 1 名、半額を各学年 2～3 名に対し給付） ・本学貸与型奨学金（90 万もしくは 40 万を無利子で貸与） https://www.nms.ac.jp/college/mchs/nursing/scholar/
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) (医学部) 医学部学生は医師国家試験に合格すると、臨床医を目指し、2 年間の初期臨床研修に進む。在学中から、日本医科大学付属病院臨床研修センターの支援のもと、適切な進路選択の指導を行っている。 https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/ (医療健康科学部) 将来自らの目指すキャリアを選択し、実現する力を培うための、「キャリア教育」を 1 年次に配置している。 また、本学科は、就職活動や進路に関する情報提供や相談、就職活動対策の企画・運営等を担う「キャリア支援委員会」を置き、学生の就職や進学等の進路支援を行う。「キャリア支援委員会」による就職活動支援には、情報収集、各種情報の提供、就職相談、就職支援行事等の開催、進路登録手続き、進学相談などが含まれる。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) (医学部) 本学では、「学年担任・副担任制度」の他、「学生アドバイザー制度」、「チューター制度」、「オフィスアワー」、「学生相談室」を設け、学生が抱える諸問題について、学生や教員、学生相談カウンセラー、精神科医師等、幅広くサポートしている。 https://www.nms.ac.jp/college/medicine/campus_life/ (医療健康科学部) 本学では、「学年担任・副担任制度」の他、「アカデミックアドバイザー制度」、「学生相談室」を設け、学生が抱える諸問題について、学生や教員、学生相談カウンセラー、精神看護学分野教授等、幅広くサポートしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.nms.ac.jp/college/introduction/releaseinfo/
備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F113310103402
学校名（〇〇大学 等）	日本医科大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人日本医科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		67人（59）人	72人（61）人	74人（64）人
内 訳	第Ⅰ区分	7人	6人	
	（うち多子世帯）	（ 2人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	1人	3人	
	（うち多子世帯）	（ 1人）	（ 2人）	
	第Ⅲ区分	4人	3人	
	（うち多子世帯）	（ 1人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	1人	1人	
	区分外（多子世帯）	54人	59人	
家計急変による 支援対象者（年間）				人（ ）人
合計（年間）				74人（64）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	1人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	1人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。